

授業コード	123402			区分	教養科目				
授業科目名	コンピュータリテラシーⅡ [PP2454組用]			担当者名	仙波 慎平				
配当年次	1年	開講学期	後期	単位数	2単位	授業方法	演習	卒業要件	必修

※上記、[区分][配当年次][単位数][卒業要件]は、入学年度、所属学科によって異なる場合があります。入学年度の履修ガイドにてご確認ください。

授業の概要	<p>近年は、ビッグデータやAIの利活用に関し、米国や中国の巨大企業等を中心とした競争が激化しており、国内外の経済成長の要因も従来の労働力・資本・技術革新から、データから価値を生み出す産業領域へと大きくシフトしている。</p> <p>本授業では、「コンピュータリテラシーⅠ」で修得したコンピュータの利活用スキルを更に高め、データ・AI利活用能力を身につけることを目指す。</p> <p>表計算ソフトの利活用が中心となる。データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できるスキルを身につける。</p> <p>また、データを守る上での留意事項を考慮し、データ・AIの利用において、モラル・倫理・脅威の理解を深め、適切に利用することを意識する。</p>
授業の到達目標	<p>本授業では、データ・AIによって社会および日常生活が大きく変化していることを理解し、コンピュータの構造やインターネットの仕組みの正しく学びつつ、データ・AIを正しく扱うの技術を習得することを第一の目標とする。</p> <p>MS Excelといった表計算ソフトの基本的な技法を学びながらドキュメント作成の実践を行うこと、Google Sheetsでの共有・共同作業を学ぶことで、社会人として必要なPC・情報リテラシーを修得することを第二の目標とする。</p> <p>データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理について学び、データ駆動型社会におけるリスク・脅威について理解することも目標である。更に、コンピュータを用いたデータ利活用能力を発揮し、課題を発見、そして解決のできる人材を養成する。</p>
授業の方法	<p>授業は各自が持参したパソコンを用いた実習形式で行うため、PCは必携である。</p> <p>各回の講義では、まずはじめに事前に示された予習範囲に関するいくつかのポイントを教員が例示し、操作方法・手法を確認する。講義の後半は、その学んだ方法を活用し課題に臨む。自らの課題を発見して調査し、解決する能力を養う。</p>

準備学習 (予習・復習等) ※時間数と内容	<p>講義に臨むにあたり、事前に示された講義該当箇所を事前に予習することを必須とする。</p> <p>したがって講義前課題の成果内容も評価に加味される。これは、特にコンピュータの機器操作において、大学入学以前の習熟度の差が大きいため、授業までにその回に使用する操作技術を持って授業に臨むためのものと考えていただきたい。講義前課題は、VOD(ビデオ・オン・デマンド)を視聴し、各自のパソコンで実際に操作を確認しながら課題に取り組む。講義前課題にはおよそ60分程度の時間を要する設定をしているが、入学以前の習熟度により時間がかかる者もいると想定される。習熟が足りてないと感じる学生は、時間をかけてより広げての操作理解が必要であるし、理解不足の点をよく理解、整理して授業に臨む必要がある。</p> <p>復習は必ず次回の授業までに行い、授業内で理解不十分だった点、時間的に未完成だった点の整理が必要である。欠席してしまった授業の内容などは、次回までにしっかりと習得して授業内課題を提出する必要がある。</p>
成績評価方法 ※課題(試験やレポート等) に対するフィードバックの方法	<p>講義前課題 30%、講義ごとの制作課題 30%、中間課題20%、期末課題20%</p>

教科書				
著者(発行年月日)		書名		出版社
著者(発行年月日)		書名		出版社
著者(発行年月日)		書名		出版社

参考書				
著者(発行年月日)	PCメディア編集部	書名	パソコン & オンライン授業活用読本(2023年度版)	出版社 日経BP
著者(発行年月日)	吉岡剛志(2022/10/1)	書名	AIデータサイエンスリテラシー入門	出版社 技術評論社
著者(発行年月日)		書名		出版社

授業計画				担当	授業前課題	授業内課題
1回	テーマ	データ・AIの活用領域	内容 MS Excel、Google Sheetsについてフォルダ、ファイル、表の作成	早田		
2回	テーマ	Excel・Spreadsheetの基本的な操作方法	内容 入力、フィルと四則計算、罫線	佐々木		
3回	テーマ	データ処理(1)	内容 データ・AIの利活用のための技術関数と数的処理	木戸		
4回	テーマ	データ処理(2)	内容 条件付き書式、スパークライン	坂本		

回				(宮本)		
5回	テーマ	データ処理(3)	内容	入力規則、テンプレート作成	仙波	
6回	テーマ	論理的思考	内容	論理関数	早田	
7回	テーマ	実務作業応用	内容	文字列関数(CONCAT,LEN,FIND,RIGHT,LEFT,MID)	佐々木	
8回	テーマ	Excel・Spreadsheet中間課題	内容	Excel・Spreadsheet関数確認試験	本庄	
9回	テーマ	データのビジュアル化	内容	グラフ作成・描画	木戸	
10回	テーマ	テンプレート作成	内容	テーブルとして書式設定	坂本(宮本)	
11回	テーマ	データベース操作(1)	内容	データ抽出(VLOOKUP,IFERROR)	仙波	
12回	テーマ	データベース操作(2)	内容	入力規制、XLOOKUP	本庄	
13回	テーマ	ピボットテーブルとピボットグラフ(1)	内容	数値合計のピボットテーブル	早田	
14回	テーマ	ピボットテーブルとピボットグラフ(2)	内容	数値個数のピボットテーブル	木戸	
15回	テーマ	Excel・Spreadsheet最終課題	内容	Excel・Spreadsheet総合確認試験	本庄	